

江東区

昔

と

今

永代橋

東都名所 永代橋深川新地
歌川広重
(国立国会図書館 所蔵)



永代橋 川瀬巴水
(江東区教育委員会 所蔵)



永代橋は元禄11年(1698)に架けられ、今より1000m上流にありました。当時、このあたりには蔵が林立し、全国の物資が集まっていました。寛永期に富岡八幡宮の造営、深川獵師町の成立とこの地の骨格が定まり、さらに東方には木置場が移転するなど開発が進められ、江戸との架け橋となった永代橋は発展の象徴でありました。

現在の橋は、震災復興事業により大正15年(1926)に竣工したものです。「帝都東京の門」にふさわしい男性的なデザインが採用され、ドイツのライン川に架かるレマーゲン鉄道橋をモデルとしました。



現在の永代橋